ともに励まん



２０１８，１２，１３（木）
北海道旭川永嶺（えいりょう）高等学校２年次だより　第３６号（通巻 81 号）

「駅だって『キラキラネーム』名乗りたい？」

このタイトルは、先週7日（金）の**朝日新聞記事の見出し**です。さて、この見出しを見て、何の記事か、とっさにわかった人は？

わかった人は、時事ニュースに敏感な人です。新聞やテレビなどのニュースをキャッチしている人です。スマホのWEBニュース見ているからいい、という人。それは、自分の気に入った記事、自分が気になったニュースしか見ていないので、世の中全般に大きく話題になったことでもスルーしてしまう可能性が大なのです。



さて、標題の記事は、東京山手線（やまのてせん）に半世紀ぶりに**新駅**が作られることになり、その**駅名**が「**高輪（たかなわ）ゲートウェイ**」に決まったというニュースを踏まえた見出しなのでした。

山手線は１周約６０分、全２９駅。その田町～品川間に、1971年以来、30番目の新駅が作られます。2020年開業予定。その駅名が一般公募され、1位は「高輪」でしたが、「ゲートウェイ」を加えた、130位の「高輪ゲートウェイ」にＪＲ東日本が決定したと言うことです。

「ゲートウェイ」に込められた意味もわからなくはないのですが、これを「キラキラネーム」だとして、不評も買っているというのがこの記事の内容です。

記事のいう内容については、みなさんどう考えますか？ 身近じゃないから、どうでもいい？ まあ、そうかもしれませんが。 「**キラキラネーム**」というのも、当然、何のことかわりますよね？

やや本題からそれますが、先日（11/7）道新に小中学生の投書特集があって、掲載されていた子どもたちの名前には**全員ふりがな**が付いていました。陽葉（ひなよ）。歩花（ほのか）。美羅（みら）。萌（めばえ）。和（にこ）。「キラキラネーム」健在ですね。

ボクが学生の頃、当時の山手線は「国鉄」、すなわち「日本国有鉄道」という国営鉄道の路線で、首都圏あたりの国鉄の電車、路線は一般に「**国電**」と呼ばれていました。現在「ＪＲ線」と呼ばれている路線のこと。当時のラッシュアワー時はホームから車内に人を押し込めるアルバイトもいたほどで「酷電」とも。

昭和の終わり頃、国鉄は民営化して、「国鉄」が通称「ＪＲ」になったとき、「国電」を「Ｅ電」と言い換えた時期がありました。これが大変に不評で、まもなく現在のように「ＪＲ線」という呼び方が定着したのでした。私個人としては、なんでもかんでも「Ｎかんとか」「Ｊなんとか」というのはいかがなものかとも思います（ＮＨＫ、ＮＴＴ、ＪＲ、ＪＰ、ＪＴ、ＪＡＳＳＯ、Ｊリーグ、ＪＪＪ･･･じぇじぇじぇ？）。当時の大学の教授の中には、「植民地みたいでけしからん」とか、「省線のままでいい」（これは国電よりもっと古い呼び方。大昔、鉄道省という役所があったころの呼び方です。古い小説を読んでいると出てきます）という先生までいて面食らいましたが。



さて、「**日頃、新聞は読んでいますか？**」「**最近のニュースで気になったことは何ですか？**」といった、**面接試験での問いに的確に応答できるためにも、否、将来的に、知識と教養を備えた社会人になるためにも、新聞を読む習慣を身につけましょう！**（本校図書室では、生徒向けに北海道新聞を購読しています。志のある人は、昼休みでも放課後でも、ちょっと新聞に目を通しに訪問しては？）

「好きなこと」を大学で、そして職業へ

漢字が大好きである。

漢字に関する研究書や資料、辞書、文芸類はつい買い集めてしまう。漢字漢文教育の学会にも、学生時代から長いこと所属してきた。



それで何になるのか、というと、取り立てて何のメリットも御利益もあるわけではない。ただ、好きなだけなのだ。好きだから投資も労力も惜しくない。好きな事って、そんなものだろう。芸事、音楽や美術、スポーツ、ゲームや遊び、はたまた嗜好品などの趣味とおんなじだ。

漢学（漢文）を専門とする学科に入学したとき、とてもわくわくした。テキストに出てくる、これまで見たこともないような難しい漢字、旧漢字の羅列にしびれた（漢電か！）。なんでもかんでも覚えたての旧漢字を使って書いたりした（台湾を臺灣、弁当を辨當と書くようなもの）。文字を覚えたての子どもとおんなじ、ローマ字を覚えたての中学生とおんなじ。ちなみに、ガイチュウ（外国語学部中国語学科）の連中は、なんでもかんでも「簡体字」で書く風潮があった（你好の你のような字）。ボクらはガイチュウではなく、チュウブン（文学部中国文学科）だったから、白話文（現代中国語）はほとんどやっていない。



サークルに関しては、入学早々、書道部をのぞいてみたところ、部員が250名もいてびっくり（漢字では吃驚と書く）。「社中」という派閥がいくつもあって、ボクが長年師事してきた先生の流派はその大学では主流ではなかったこともあって入部はやめた。そこで門をたたいたのが「中国文学研究部」。もっぱら漢文を読み、漢文を研究し、素読、誦読、訓読、精読、解読、日夜漢文漬けになるという変態的サークルである。年に2回、漢文漬けの合宿にも行った。学祭ではまじめな研究発表誌を販売する一方、いかさま易占いなどして部費を稼いだりした。まことに充実した4年間を過ごせた。



君たちにはなにか「好きなこと」はあるだろうか？ 大学の学問分野、将来の職業につながりそうなことだと、なおいい。「好きという気持ちが高じれば仕事につながる」･･･最近読んだ新聞だったか雑誌だったかにも書いてあった。



12（水）朝のNHKニュースの画面に、ゾゾの前澤社長の写真に「断念」というキャプションが付いて、ニュースの見出し項目に並んでいた。ボク「え？ゴウリキさんを断念？」妻「月旅行じゃないの？」キャスター「球団を持つことを断念しました」。前澤氏いわく、「（球団を持つための）勉強不足でした。でも、**夢は持ち続けたい。**」と。いいですね！ キミたちも･･･。

☆☆☆ 来週の行事と時間割 ☆☆☆

１２月		行　事　等 ①②は、１校時２校時をあらわします		★時間割を確認しよう ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
１７	月	３期講習最終(6)　数学	6 時間							
１８	火		7 時間							
１９	水	職員会議	6 時間							
２０	木		7 時間							
２１	金	餅つき	6 時間							
２３	日	**冬期講習初日　＊休日ダイヤに留意**								
２４	祝	**冬期講習(2)　＊休日ダイヤに留意**								
２５	火	授業最終日・全校集会（講習なし）	7 時間							

勉強合宿申し込み者96名！　**1月進研模試はもう少し受験すべき人がいるのではないだろうか？**

１２月。気持ち切り替えるチャンス！

（文責　伊丸岡）